

(6) 愛知県名古屋市鶴舞中央図書館

愛知県名古屋市図書館協議会・児童図書選定協議会

－「市立図書館と学校図書館との連携のあり方について」（名古屋市図書館協議会作成）に見られる連携事業の実際－

【名古屋市図書館協議会と児童図書選定協議会】

1 名古屋市図書館協議会

(1) 概要

昭和 44 年 3 月 27 日の名古屋市図書館協議会条例により設置される。事務局は、名古屋市鶴舞中央図書館に置かれ、庶務を行っている。学校関係者、社会教育関係者、学識経験者などから、10 人の委員が選出される。

平成 21 年度は、4 回開催し、主に、名古屋市図書館中期計画・名古屋市図書館サービス計画における重点事項（目標）・運営状況の評価と改善などについて、審議を実施した。

(2) 「市立図書館と学校図書館との連携のあり方について」

平成 21 年 1 月に名古屋市図書館協議会は、小中学校図書館と名古屋市図書館の連携を推進するために、「市立図書館と学校図書館との連携のあり方について」を発行した。

その中で、市立図書館と学校との連携事業の現状については、「図書館司書がブックトークに出向いた校数・件数・人数の推移」、「図書館訪問実施の校数・件数・人数の推移」、「職場体験学習実施の校数・件数・人数の推移」について、過去 4~5 年のデータをもとに分析するとともに、それぞれ 1 校ずつの小中学校に出向き、図書館活動の調査を実施した事例について報告している。また、市立図書館と学校・学校図書館との連携の問題点と課題を 5 点明らかにし、さらに、これからの連携のあり方（後掲）について、3 点を挙げ、連携に向けた具体的な事業展開計画を示すなど、一つの地方自治体が、自らの設置する市立図書館と学校図書館の連携を推進するために、独自の調査を実施し、連携の方策について明らかにしている点が注目される。

2 名古屋市児童図書選定協議会

(1) 概要

昭和 31 年 1 月に発足した。協議会の庶務は鶴舞中央図書館が行っており、学校長、幼稚園教諭、小中学校教諭、有識者、教育委員会職員から 37 名以内の委員が選出され、主に、小中学校向け図書の選定と選定図書の普及に関する審議を行っている。

(2) 「選定児童図書目録」の発行

平成 21 年度には、11 回の選定会を実施した。平成 21 年 1 月から平成 22 年 3 月までに選定された図書は 105 点で、それらをまとめた「選定児童図書目録（平成 21 年度版）」が最新刊となっている。

学校（幼稚園）・行政・図書館のそれぞれ異なる立場の委員が、年に何度も顔を合わせて情報を交換・共有する場となっており、連携を推進していく上でプラスの要素となっていることは想像に難くない。

※また、選定児童図書目録とは別に、名古屋市教育委員会では、平成 21 年度に「なごやっ子のおすすめ 100 冊（小学生版）」、平成 22 年 4 月には「なごやっ子のおすすめ 100 冊（中学生版）」を発行するとともに、HP でも紹介している。

【連携事業の実際】

1 連携事業

(1) 学校訪問

子どもの頃から本に親しむ習慣を身につけてもらうため、職員（司書等）が直接、小・中学校に出向いて、ブックトークや読み聞かせなどを行う事業を展開している。この事業は、平成 15 年度から教育委員会の「その道の達人派遣事業」として実施されている。平成 21 年度は市内の小・中学校など 117 校 975 クラスに対して、のべ 635 回の派遣が実施された。

(2) 図書館訪問

図書館の見学や調べ学習などの目的をもって、学年単位、クラス単位での来館が多い。各々の求めに応じて、館内見学ツアーやストーリーテリングの実施など学習の援助を行っている。

平成 21 年度は市内の小・中学校、のべ 94 校の訪問があった。

(3) 職場体験

職業体験学習の場として、主に中学生を受け入れ、カウンター業務など図書館の仕事を実際に体験してもらっている。この就業体験を通じて、図書館をより身近な施設として捉え直す機会にもなっている。平成 21 年度は市外の中学校や高校も含め、66 校（のべ 87 回）の生徒 251 人が体験した。

(4) 団体貸出

学校（小・中・高）に対しては、調べ学習に使用する資料や授業に必要な資料の貸出を、最大 300 冊、3 か月（HP では「1 か月程度」となっている）を上限に実施している。平成 21 年度には、のべ 113 校、747 回の利用があった。

2 その他、子ども読書活動の推進（「名古屋市子ども読書活動推進計画」の事業）

(1) はじめての本との出会い事業

保健所の乳幼児健診時に絵本の紹介や読み聞かせを行うもので、今年度は絵本の紹介冊子を 3 種類作成し、全保健所の健診時に配布した。また、楠図書館をはじめ 5 館でボランティア養成講座を開催した。

(2) 子ども図書館大使

市内の小学生 15 名を「子ども図書館大使」に任命し、図書館の仕事を体験し、学校へ戻って図書館の魅力伝える活動を行った。（平成 19 年度より実施）

3 これからの連携のあり方について（課題）

(1) 人の連携を組織する

- ・人の連携の組織化
- ・インターネットの活用

(2) 資料を共有化する

- ・情報化の推進
- ・インターネットの活用
- ・物流システムの確立

(3) 情報の共有と蓄積と公開

- ・インターネットの活用
- ・資料の充実

※インターネットの活用について、図書館 HP には「図書館が学習のお手伝いをします～学校の先生方へ～」というメニューが設けられ、Q&A 方式で連携に関する疑問に答えている。

[小学校高学年向け図書]

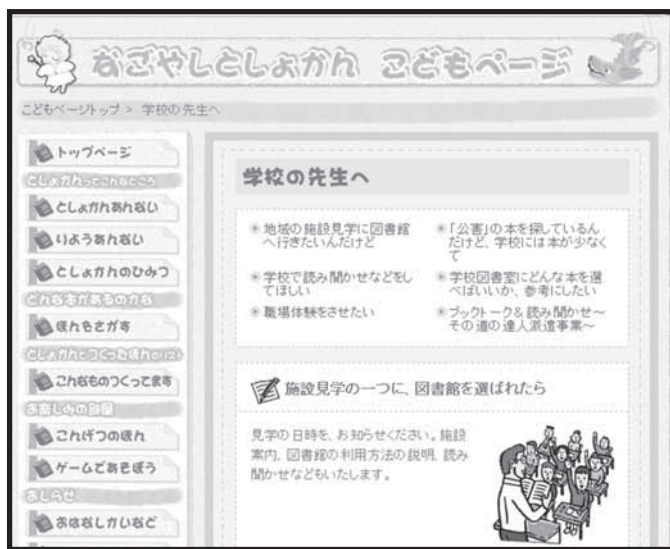
他に、小学校低学年向け・中学年向け
中学生向けのページがある。

【参考資料】

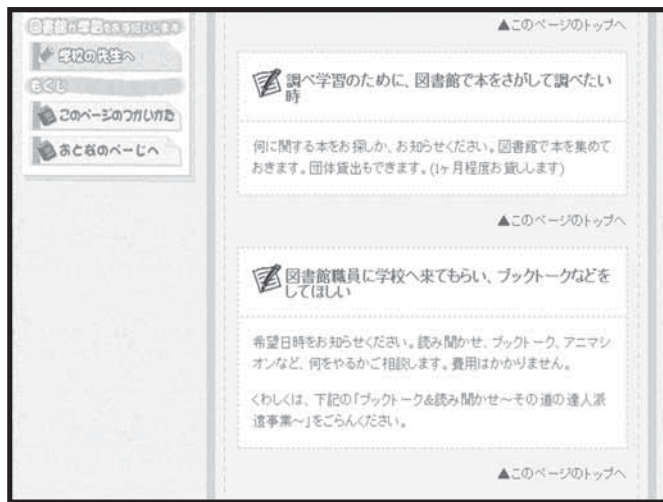
(1) 名古屋市選定児童図書目録



(2) 名古屋市図書館HP



[教師向けメニューのQ&A]



館名 : 名古屋市鶴舞中央図書館
 所在地 : 〒466-0064 愛知県名古屋市昭和区鶴舞一丁目1番155号
 TEL : 052-741-3133
 FAX : 052-733-6337
 設置年 : 大正12年
 設置主体 : 愛知県名古屋市
 ホームページ : <http://www.library.city.nagoya.jp/>
 利用者数 : 約31万人 (館外利用者)
 蔵書数 : 約121万6千冊
 貸出数 : 約86万5千冊 ※データは全て平成21年度のもの

